



## 年度末のご挨拶

地域医療支援センター長  
内科診療部長

山端 潤也

令和4（2022）年度も大変お世話になりありがとうございました。新型コロナウイルスも今のところ小康状態で、先生方からの「紹介」～当院からの「逆紹介」を活発に進めていただき感謝申し上げます。

入退院調整や患者さんご家族の面会など、コロナ前に少しずつ近づきつつあるようです。5月8日には感染法上の取り扱いも変わりますが、これからの対応については世の中の状況も見ながら、皆様と情報を共有しながら臨機応変に進めていきたいと思っております。今後も、垣根の低い「顔の見える関係、声の聞こえる関係」を充実させていきたいと思っております。新年度も宜しくお願い申し上げます。

## 開放病床登録医研修会・運営委員会を開催しました

2月16日（木）に公立能登総合病院開放病床登録医研修会と運営委員会をハイブリッド形式で開催しました。

前段では、登録医の先生方を対象として歯科口腔外科の長谷医師による「口腔管理と嚥下診療～医科・歯科連携の重要性～」、内科の高畠医師による「肝炎ウイルスキャリアの拾い上げ」の内容で講演を行いました。



後段の運営委員会では、当院の外来・入院患者状況や開放病床の利用状況、紹介率及び逆紹介率などについて実績の報告を行い、登録医の先生方から貴重なご意見をたくさん頂きました。今後の地域連携に活かしていければと思います。



## がん相談支援室のご紹介

当院では、がんに対する相談、情報提供の窓口として、「がん相談支援室」を設置しています。

どんな相談ができるの？

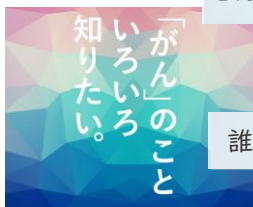
がんに関する病気のこと、治療のこと、医療費のことなど。それぞれの相談内容に応じて、各専門職が対応いたします。

誰でも相談できるの？

当院に受診されている患者さんはもちろん。治療を受けられていない方でもご利用できます。

いつでも相談できるの？費用は？

相談対応時間は、下記のとおりです。費用は【無料】です。  
・平日 13時30分～16時30分



### 脳神経外科輪番日のご案内

4月	1.8.9.15.22.23.29
5月	3.4.5.7.13.14.21.27.28
6月	4.10.11.18.24.25

### 小児科休日当番日のご案内

4月	2.16	7月	16
5月	3.21	8月	6.13
6月	4.25	9月	3.17

患者さんやご家族と一緒に悩み、考え、少しでも不安や心配が軽くなるようにお手伝いさせていただきます。ぜひ気軽にご利用ください。

# 二次性骨折予防から考える骨粗鬆症治療



整形外科  
部長 大成 一誓

## まずはじめに

2022年度に診療報酬が改定され、新たに二次性骨折予防継続管理料が設けられました。

これによって、急性期の時点から二次骨折予防に取り組むことで

1. 急性期病床
2. 他病床
3. 外来

それぞれで管理料を算定できるようにになりました。

これらは、地域での骨粗鬆症連携をはかり、骨折予防に努めましょうという意図があると考えられます。

この二次性骨折予防継続管理料の算定にあたり、

【骨折リエゾンサービス (Fracture Liaison Service) クリニカルスタンダード※及び骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン】

に沿った評価、治療が必要となります。

※FLSを実施するすべての施設が二次骨折予防の取り組みを効率的に行うために示された、最低限必要な指標



## 「骨折リエゾンサービス (FLS) とは？」

### FLS提供の意義

脆弱性骨折は骨の強度が低下し、わずかな外力で生じる骨折であり、高齢者の生活機能を一瞬にして奪い、生命予後の悪化をもたらす重大な疾患です。一度脆弱性骨折を起こした患者の二次骨折リスクは極めて高くなるため、骨折治療を受けた患者に再発する骨折を未然に防ぐことは本人のみならず、家族、地域社会、更には医療経済の面からも極めて重要なことです。

FLSは、脆弱性骨折患者に対する骨粗鬆症治療開始率および治療継続率を上げるとともに、リハビリテーションの視点から

転倒予防の実践により二次骨折を防ぎ骨折の連鎖を断つことを使命としています。

## FLSのスキーム

脆弱性骨折患者に対する骨粗鬆症治療開始率と継続率を向上させるためには、次の5つの要素が重要だと考えます。

- ① 対象患者の特定
- ② 二次骨折リスクの評価
- ③ 投薬を含む治療の開始
- ④ 患者のフォローアップ
- ⑤ 患者と医療従事者への教育と情報提供

## FLSチームの立上げ

当院では、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄



養士、理学療法士、作業療法士、医療事務によるFLSチームを立ち上げました。今後はチーム会議や院内研修を行い、多職種での協働とそのため連携教育を進めていきます。

## 今後の取組みについて

まずは地域の病院やクリニック、施設などを対象にアンケートを実施させていただきます。アンケート結果を踏まえて、地域の皆様とどのように連携させていいただけるかを協議していきましょうと考えております。

何かとご面倒かとは存じますが、アンケート等がお手元に届いた際には、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

